



THE ROTARY CLUB

OF YAMATO-NAKA

大和中ロータリークラブ会報

REACH OUT...

手をさし伸べよう...

R.I 会長 クレム・レスーフ

第 20 回 例会 1978 年 11 月 9 日 (木) 晴 第26号

出席報告

出席者数	欠席者数	出席率	前回の出席率
25 名	20 名	95,2 %	95,2 %
小菅			

矢野会長テーマ 友情の輪をひろげよう

司会 佐藤会長代行

ヒジター

山本忠夫君(横浜瀬谷), 佐々木幸男君, 中里直己君, 大石芳文君, 出縄茂君, 土屋巖君, 小沢昭治君, 黒川孝君(大和)

会長報告

佐藤会長代行

- 10月29日の第一回家族会には、多数の方々の参加により、所期の目的を達成できましたことを感謝致します。又親睦委員会の周到な計画と実施のお骨折りが苦労様でした。
- ガバナー事務所より、ローターアクトの海外研修スケジュールの企画案内がきました。(回覧)
- 田岡 R.C.より、チャーターナイトについての礼状が届いております。(回覧)
- G.S.E. 行事日程細目表が届きました。参考までに回覧いたします。

幹事報告

- ロータリー名言カレンダーの注文がきております。ご希望の方は事務局までお申し出下さい。
- 11月10日、基地内施設の下見にご出席下さる方

の集合場所は市内4ヶ所を指定しますので最寄りの集合場所へそれぞれお集り下さい。

- 11月16日午後6時半より、チャーターナイト準備の為の会合を行います。会場は次回知らせます。
- 蜂屋副会長より連絡があり、11月6日から午前中会社に出て、午後病院に行くという日程だそうです。11月16日の例会には出席したいとの事です。皆様にくれぐれもよろしくとの事でした。
- 本日は例会終了後、定例理事・役員会を開催致します。理事、役員の方はご出席下さい。

委員会報告

青少年奉仕委員会 須藤委員長

- 10月30日、大和 R.A.C.5 周年記念式典が、大和医師会館で行なわれ、当クラブから長谷川幹事 芦田会員と私の三名が出席しました。盛大な式典が行なわれましたことを御報告致します。
- 大和 R.A.C.は毎月第一、第三、第五の月曜日、

本日のプログラム (10月16日)

「ロータリー財団について」 谷口 栄氏

次週予定 (10月30日)

イニシエーションスピーチ 大高君, 佐藤君

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

事・務 所 : 大和中央 1-5-40
及 び 大和市商工会館内
例 会 場 電話0462(63)7926

例 会 日 : 毎週木曜日12時30分より
例 会 長 : 矢野久元 副 会 長 : 蜂屋良平
幹 事 : 長谷川清一 会 報 委 員 : 土屋・郡司

夜7時より当会館1階で例会を行なっております。親クラブの方々は皆さん自由に参加され、卓話等いたゞいておるようです。当クラブからも今後ぜひご参加頂きたいと存じます。

- 当クラブがR.A.C.の助成する方針を立てておりますが、会員増強について近々大和R.C.の宮東委員長が来られることになってはいますが、当初は当クラブ会員の中で18才から28才までの子供さんをお持ちの方に特にご協力頂きたいと存じます。
- 大和R.A.C.主催によるチャリティーダンスパーティーが来る12月2日に催される事になっていきます。パーティー券は一枚800円で、親クラブでは全員がお買いになるそうです。当クラブの方々もよろしくご協力下さい。

親睦活動委員会 猪熊委員長

- 去る29日の第一回家族会には皆様のご協力により無事終ることが出来ました。その時のスナップ写真が出来ております。申込書と一緒に回覧致しますのでよろしく。

イニシエーションスピーチ

大高安男君

私の経歴につきましては、本日の会報で紹介されておりますので、皆様のご参考になるかどうか分かりませんが、今日は私の仕事上のお話を少しさせて頂きます。

私は建築屋です。この建築業界というものは、他の産業から比べますと遅れている産業です。それは他産業の量産化から発達するのと違い、労働力の集約で、封建的な面が多くあるためだと思われれます。ごく一般に適用している保険制度もないところが多くあります。昔から「ケガと弁当は自分持ち」と言われております。

又倒産件数も非常に多い。これはどんぶり勘定が多いためです。大企業、中小企業と言われる会社はともかく、私達が自分の家を建てる場合、いわゆる工務店と称するところに依頼する。そしていざ工事が始まると、やれ何だ、かんだと追加金が出て来ます。又基礎だけやって逃げられてしま

うと言ったトラブルも多い。

では、建築にあたってどの点に注意すれば良いかと申しますと、先ず設計図面をしっかりと作ること、そして具体的に個々の材料を計算した見積書を作らせること、最後にしっかりとした契約を結ぶことです。以上の点に留意して建築を進められた方が良いと存じます。今后何か建築の事でお聞きになりたい事がございましたら、ご遠慮なくおたずね下さい。

佐藤 実君

新潟生まれ川崎育ち、川崎工業学校を終えてプレス工業㈱に入社。勤務のかたわら夜間の工業専門学校に学びましたが、当時戦争中で、夜間の学校でも卒業を半年繰上げの9月卒業で、すぐに産業戦士の兵隊にかり出されました。私も学校半ばで陸軍の特別操縦見習士官に応募しましたが適性検査で不合格となり、その後浜松の三方原航空教育隊に入隊し、間もなく敵B25の襲撃を受け部隊が使用不能となり、その夜から各分隊毎に行軍に移りましたが、どこをどう歩いたか分かりませんが、寺や農協の倉庫を兵舎がわりに約ひと月訓練を受け乍ら、最後は能登半島で敵前上陸に備えての訓練中に終戦となりました。入隊半年余りで、それはつらく、苦しい毎日でしたが今となっては非常に貴重な体験でした。

終戦後プレス工業に戻りましたが、終戦後の物資不足で工場電力も割当てゞ、夜間でないと送電されず、夜間勤務も致しました。昭和26~27年、トラックの運転台をスチール製にする為いすゞ自動車の設計陣と共に本格的なスチールキャブの設計に従事し、プレス工業で生産が開始されました。

その後専門工場として車体工業が創立し、昭和32年10月車体工業へ移りました。そして又車体の関連会社の京浜工業で会社経営を体験、一時車体に戻りましたが、現在は厚板鋼板加工業である三和建鉄で取業奉仕に励んでおります。



Charter Member's Profile



松本会員

チョコレート細工にかけては県下一の腕を持つ今週は松本忠明会員をご紹介します。忠実屋大和店のとなりにある洋菓子「チロル」の代表取締役松本さんは、このほど行なわれた「洋菓子新作発表会」に於て県知事賞を受賞されたそうです。秋晴れの某日、甘い香りがたぎよう店内喫茶室でお話を伺いました。

—先日県知事賞を受賞されたそうで、おめでとうございます。その模様について少し伺えませんか……？

「これは神奈川県洋菓子協会が主催し、4年に1度行なわれるもので、その都度種類が変るのですが、今年は私の得意とするチョコレート部門の他全部で5部門に分れて腕を競いました。」

—どのくらいの人が参加するんですか……？

「県内には1,600ほどの店がありますが、その中から約340店が参加しました。」

—受賞されたのは5部門のうち……？

「チョコレート部門とアントルメ（デザート菓子）、プティフル（小さい菓子）の3部門で入賞しました。」

—製作期間はどのくらいかかるんですか……？

「実際に手がけるのは約2週間くらいですがコンテからですと約半年ですね。我々職人が見て、どうやって作ったんだろうと考える様な作品でない駄目ですから、それなりに時間もかかります。」

—ところで本題に入って、R.C入会動機については……？

「大和R.Cの宮東さんに勧められて……。昼食をするだけの時間ならと思入会しました。」

—入会してみたいか……ですか……？

「まず良かった事は、いろいろな人にお会い出来、お話を伺えること。困ったことは時間を取られることですね。」

—例会については……？

「だい分楽しくなって来ました。」

—米山委員長として一言……？

「国際ロータリー財団の淡谷さんにおんぶしてまして、序々にやってゆきたいと思っています。本格的なものは来年にならなければ出来ないかも知れませんが。」

—今後のクラブ運営について、何かご意見がありますか……？

「早く会長さんに出て来て頂きたいですね。それと今の雰囲気を持ってゆけば、木曜日のお昼が楽しみになって来るのではないのでしょうか。」

—奉仕についてのお考えは……？

「私は毎月一回家庭の主婦を対象に洋菓子講習会をやっています。一回約3時間半くらいでいろんなケーキの作り方を教えるものです。これが職業奉仕だと思ってやっています。」

ご趣味はゴルフと油絵の観賞との事。お菓子のご研究のために2度程ヨーロッパに行かれたとか。「モンマルトで買った絵も何枚ありますが、小磯良平さんの絵を一生かけても手に入りたい」とおっしゃっておられました。

甘いものは全く駄目な私も、松本さんのお店に飾られたプティフルの美しさについて誘われて、子供のみやげにと手が出てしまいました。

(土屋会報委員)

理事会報告 (11月9日開催)

- 次年度理事・役員指名委員会を編成することの承諾を得る件。
 - 宮之原会員の長期欠席の承認を求める件（事後承諾）。
 - 新会員の推せん件。
- 以上各項につき検討致しました。

ロータリー情報

「四つのテスト」について 雑誌委員会より

四つのテストは見方によって大変にむづかしい心得のように思えます。今回は関連雑誌の中から先輩諸兄の見解をとり出し組合せてみました。

その①……甲府南クラブ河野さん（ロータリーの友VOL. 26 7月号の頁）。仏教的な見方をすれば真実とは唯心仏のみが到達し得るところのもので凡人の及ぶものではない。欲望のまゝに行わしようとする肉体と、それを制御しようとする心との葛藤のくり返しの表われである人間の言行には真実と言えるものは無い。従って「己に忠実であったかどうか」という風に置きかえて順応し、納得している。又「みんなに公平か」という事も人間にとっては至難の道であり、公平という鏡に己の言行を照らしてみれば殆んどの会員は言ったり、行ったりすることが出来なくなってしまうであろう。この様な疑問を投げかけておられます。

その②……パキスタン 北カラチクラブ ミルバ ジャミールさん（THE ROTARIAN / AUGUST 1978 P.46）。イスラム教的な見方をすれば、ロータリーの本質、即ち格調高い人間として道徳に従うことはイスラム教の教えに近いものである。ある仕事を企画し実行するに際して自分自身がどれ程誠実であったかどうかを計るモノサシが欲しい、これが四つのテストである。このモノサシがあれば常にぐらついている自分の心を正しい方向に正し、満足感を与え誤った決定をしなくてすむと思う。「真実かどうか」余りむづかしく考えないで自分の信念に従って何となく感じる事でよいのである。いろいろと資料を検討し結論を出そうとすることは危険である、直感が総てあり自分自身で納得することである。

「みんなに公平か」これは我々が利己的になったり、又誰かゝ何かをやってしまった と思ひ込んでしまったりしない為の注意である。即ち第I, 第IIのテストは現在及び将来において悪いことをしない為の意図であり、第III, 第IVのテストは物事を積極的に行なうに必要な人間関係を作ること

を目的としたものといえる。そしてこれは教育的にも、社会的にも、更に経済的にも得るところが多い と大変楽観的なジャミールさんの見解です。さて皆さんは何のようにお考えですか。

（上田雑誌委員）

スマイルBOX

大和R.C. 中里会員、藤田会員の御子息のところに嫁に行った私の娘が無事ヨーロッパへの新婚旅行から帰って来ました。

藤田会員、10月28日、北砂会員の媒約により、長男が結婚致しましたので、

北砂会員、10月28日藤田、中里（大和R.C.）ご両家の仲人を無事つとめさせていたゞきました。若夫婦の永久のお幸せと、ご両家の御繁栄をお祈りして。

郡司会員、今般、社長に就任致しました。今後共皆様の御指導御鞭達をお願い申し上げます。

伊藤会員、酒販青年部?の野球大会で優勝致しましたので……。

土屋会員、去る11月3日に行いました“日中平和友好条約批准祝賀祭”が成功裡に終ることが出来ました。これも皆様のご協力の賜と感謝致します。

大高会員、プロフィール立派すぎて困っております。大変有難うございました。

猪熊会員、今日の会報で実物以上のスケッチを紹介して頂き有難うございました。

編集後記

家族会の為にこの例会は11日ぶり、何となくペースが狂った感じになったのは私だけだろうか。皆さんと久しく逢なかつた分翌日に基地下見でご夫人の方々ともお目にかゝり、親睦も一層深まった。チャーターナイトの会場下見を兼ねたこの晚餐会、終ってから別れ難く、とうとう全員で二次会。これもロータリークラブならではの事だろう。やはりR.C.は出席することに意義があることを改めて感じた。

（NRZ）